



社会福祉法人みかたこぶしの里

基本理念

私たちの職業は“人に関わること・人が人に行う専門的援助サービス”であり、ゆえに関わりを通して受け手が“保障されたいもの、大切にされたいもの”を尊重する「ケアの基本となる考え方」が必要となります。

“安心して年を重ねたい”この思いは、その人らしく老いるために誰にとっても共通の課題として、この願いを可能な限り保障するための「理念」を掲げました。

その基本は、人権と人格の尊重と多様なニーズに応えられることにあります。

次に掲げる三つの基本理念は、すべてのケアの基幹であり、ケアの実践が理念の発現につながるよう努めます。

(1) ノーマライゼーションの確立・・・「ふつう」であることのあたりまえ化

- 障がいの有無、加齢に関係することなく“人”として誰もが平等であり、一般社会の営みの中にふつうに参加でき、ふつうに生活ができることをあたりまえとして保障したい。

(2) 人権の保障・・・「自分だったらどうして欲しいか、どう守られたいか」

- 人間は誰もが侵すことのできない基本的人権を有しており、一人ひとりの生き方や主体性を尊重する中で、自己決定を柱に都度の支援を提供したい。そして自己実現を支援したい。

(3) 生きがいの創造・・・「明日を迎えるために、躍る心を」

- 人として個として尊ばれ、社会の中にふつうに位置できること、そして明日を迎える安心感を保障したい。その中でも生への意欲、明日につながる意欲、生きたいと思える心の躍りに向けて関わりたい。